

広報 たなべ

6

2025

No.241



特集

真砂市政 6期目 次世代へ希望をつなぐ

田辺市長選挙・田辺市議会議員一般選挙が4月27日㊏に行われ、新市政が始まりました

INDEX

田辺市20周年記念「鼓童ワン・アース・ツアーコロナウンド2025」 / 第37回弁慶まつり参加者を募集します / たなべ住人十彩「お弁当に詰める思い出」那須 はるのぶ 晴信さん（長野） / 高校生レポーター「伝統の味を守り続ける」愛須 翔月（南紀高等学校）

市長就任あいさつ

このたび、市民の皆様から温かいご支援とご厚情を賜り、引き続き6期目の田辺市政を預かさせていただきました。改めて市長としての責任の重さを実感いたしますとともに、決意と覚悟を新たにし、強い使命感で身の引き締まる思いです。

1週間の選挙戦と後援会活動を合わせ約5ヶ月をかけて、市民の皆様にこれまでの市政運営についてお話ししてまいりました。皆様の一定のご理解が、今回の選挙において当選という結果につながり、改めて、市民の皆様に感謝を申し上げます。

私は選挙戦を通じて、想定以上に進行する人口減少に対し、一つひとつ具体策を示していくということ

市長がめざす これからのまちづくり

真砂市政 6期目

を申し上げてまいります。私たちの地域では18歳人口が大学への進学等により大きく減少しているという課題があり、公立大学の設立構想は、その課題解決の一例です。公立大学を設立することが可能かどうかなどについて検討を進め、できるだけ早い段階で具体的な方策を市民の皆様に示してまいります。

一人ひとりが大切にされ、幸せを実感できるまちの実現をめざして、市民の皆様の信頼と期待に応えられるよう、果敢に挑戦してまいりたいと考えています。今後とも変わらぬご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

真砂 充敏

自覚者が責任者

眞砂充敏



田辺市長 眞砂 充敏

この言葉は、知的障害のある子どもたちの教育や福祉に生涯を捧げられ、「福祉の父」と呼ばれる糸賀一雄さんの言葉です。

気付いた者が責任者という自覚が必要だということを示していると考えています。

職員はもちろんですが、市民の皆さんにもそのことを呼びかけてきました。私たちは傍観者でもありません。当事者であり、責任者です。

そういう思いで、今ある人口減少等の様々な課題を、共に解決できるよう、精一杯頑張っています。

この言葉は、知的障害のある子どもたちの教育や福祉に生涯を捧げられ、「福祉の父」と呼ばれる糸賀一雄さんの言葉です。

プロフィール 昭和32年7月、中辺路町生まれ。昭和63年に中辺路町の町会議員に就任し、平成8年から中辺路町長を務める。平成17年に田辺市長に就任し、現在6期目となる。

就任にあたっての市長からのメッセージを「田辺市公式YouTubeチャンネル」からもご覧いただけます▶



実は知らない？市長の素顔

意外と多趣味です

趣味は釣りや読書、サウナにゴルフ……と多いほうだと思います。特に釣りが好きで、一番印象に残っているのは、磯釣り師にとつては幻の魚とも言われる口白（イシガキダイ）を4年前に釣り上げたことです。雑誌にも取り上げられました。

他には、趣味とは言えないかもしれません。意外なところでは、草むしりもものすごくリフレッシュできますね。

趣味が多いと人に会うことが多いです。もし私に出会ったときは気軽に声を掛けてください。

小学生の頃は、オリンピックの選手になりたいと真剣に考えていました。どの種目というのはなかつたのですが、東京オリンピックで活

躍できる選手というのはすごいなと思っています。文集にも書いています。

市長をめざしたきっかけは、小さな信頼を積み重ね、応援してくださる皆様の期待に応えようと頑張ってきた延長になります。

夢を持つことは大事なことだと思っています。市民の皆さんに夢を持つてもらえるような、少しでも未来に対してもうい雰囲気を持つてもらえるようならまちづくりをしていきたいです。

釣り歴はもう40年を超えていて、私は“自称プロ”です



田辺市を未来へつなぐ

皆さんの暮らしを支え、この地域の資源や歴史、文化、産業を守り、発展させ、そして未来へつなげるために、皆さんと共にまちづくりを進めていきます。

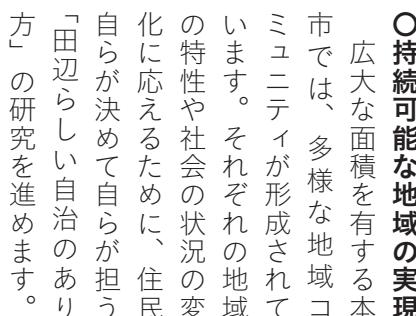
暮らし（生活）を守る



○防災・減災対策

市民の皆さんの防災意識の維持・向上や、災害に備えた防災体制の強靭化を図るとともに、地震や津波、台風等に伴う集中豪雨による被害を最小限に食い止める取組を進めます。

また、被害が広域に及ぶ南海トラフ地震などの発生に備え、広域相互応援体制の更なる充実に取り組みます。



○医療・福祉の維持・充実

地域に住む人々が安心して暮らせるよう、住民や社会福祉関係者、医療機関、行政などが互いに協力しながら推進する「第5次田辺市地域福祉計画」の策定に向けて取り組みます。



○持続可能な地域の実現

広大な面積を有する本市では、多様な地域コミュニティが形成されています。それぞれの地域の特性や社会の状況の変化に応えるために、住民自らが決めて自らが担う「田辺らしい自治のあり方」の研究を進めます。



○たなべ未来創造塾の継続・関係人口の更なる増加

地域資源の活用や地域課題の解決をビジネス手法で考える人材の育成やビジネスモデルの創出に取り組む「たなべ未来創造塾」を継続します。



○生涯学習の推進

市民一人ひとりが学びを通じて自己肯定感を高め、学びの成果が地域で生かされ、地域づくりにつながる生涯学習の機会を提供します。

また、本市の認知度の向上と交流・関係人口の創出を図るため、メディア等を活用した情報発信を行います。

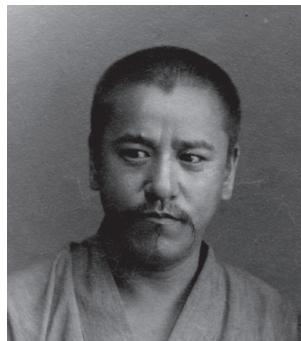
森林学習等を通じて人々の生活や環境と森林との関係について理解と関心を深め、ふるさとへの愛着と誇りを持った子どもたちを育みます。

また、高等教育を受けることのできる機会や選択肢を増やすため、高等教育機関の設置について検討します。

価値の向上



○ 古から歴史・文化を継承し次世代につなぐ
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」や文化財を守り、引き継いでいくための取組を推進します。また、文化事業の実施や美術品の所蔵・公開により、地域文化の振興や学びの場の提供、市民の文化意識の高揚をめざします。



○ 豊かな自然環境を大切にし、共生をめざす
先人が暮らしの中で守り育んできた農山漁村の風景や、熊野古道に代表される文化的景観を守ります。
○ 先人の功績に学び顕彰する
南方熊楠翁の偉業を掘り起こし、広く社会に伝えるため、南方熊楠賞の運営や熊楠翁の業績と実像を紹介します。
また、合気道の開祖である植芝盛平翁の生誕地として、盛平翁の偉大な功績を後世に伝えるため、情報発信を行います。

次世代へ希望をつなぐ

人口減少に具体策を

本市では、多種多様な地域課題の解決に果敢に取り組んできましたが、今なお残る多くの課題の原因是「人口減少」によるものです。この地域に誇りを持って貢献する人材の育成など、人口減少対策に取り組みます。

● 生産年齢人口・労働力人口の確保

性別や年齢、国籍等に関わらず、就業を希望する人を含めた労働力人口の増加を図ります。

● 「地域力」の向上

地域コミュニティの希薄化が進む中、新たな自治の再構築をめざします。

● みんなで子育て応援プログラムの拡充

妊娠・出産から育児に至るまで、子どもを産み育てやすい環境の充実に努めます。

● 関係人口を二地域居住に

関係人口の取組をさらに進めて、市外からの二拠点生活者を創出します。

● 18歳人口の減少対策を

高等教育を受けることのできる機会や選択肢を増やす高等教育機関の設置を検討します。



■掲載順（右上から五十音順） 氏名（敬称略）／政党（現新別）／住所／座右の銘や大事にしている言葉

決定しました

18名の皆さんのが当選しましたのでご紹介します。



田辺市議会議員が

田辺市議会議員一般選挙が4月27日㊏に行われ、開票の結果、